

「先生との初めての対立」

ソンミン

私は先生と対立するなんて、思いませんでした。相手は音楽の先生です。この対立はある日の授業中、発表会のための曲を選んでいる時に起こりました。演奏する曲として、最初は日本の曲を選ぼうとしたら、急に音楽の先生から「日本人の歌はプロフェッショナルじゃないからダメだ」と言われました。それを聞いた私と私のグループメンバーたちは疑問に思って、その理由を聞きました。すると、「自分はプロフェッショナルだ、口答えをするな」と、自信満々な声で言ってきました。この後、さらに4つの曲を提示しましたが、「タイトルが気に入らない」「曲中のドラムの音の一部が気に入らない」「歌詞が気に入らない」「愛に関する歌だからイヤだ」「絶対に弾けない曲だからダメ」といった理由で拒否されました。6曲目を提示すると、歌詞だけ見て許可されました。しかし、その曲は、薬物に関する内容の曲で、先生はその背景を知らずに許可をしたのです。私たちはそんな先生を「厄介な人だな」と思いました。この先生のおかしな言動はこれだけではありません。例えば、練習の時間配分がちゃんとできておらず、30分以上練習したグループと練習自体ができなかったグループもありました。私たちのグループは練習する準備を終わらした時、先生が練習の時間が終わったと言ってきました。違うグループたちが練習してる時、練習するための準備をしようとしたけど、先生が「違うグループの人に対してとても失礼」だと言われ準備すらできてなかったのです。

。また、ボーカルの声が聞こえないのをドラムの音が大きいせいにして、優しく叩くと、今度は音が聞こえないと言って私が「強くも、弱くも、優しく叩いてもなんか言うんだっらどうやって叩けば良いのか」と聞いたら考えろと言われてたり、私が休憩をとってる間に違う子がドラムをものすごく強く叩いた事を私のせいにしてたりしました。どうして先生はこんなひどい事をしたのでしょうか。先生は自分の事を世界の中心だと思っているのではないかと思いました。理由は、自分をプロフェッショナルと言ったり自分が気に入らない曲に奇妙な理由をつけて拒否したりしたからです。今回こう言うことが起こりましたが、次、同じ立場の人と似てる事が起きたら、適切な対応を取りたいと思います。また、社会でまたこのような人に出会ったら、自分と相手の意見を伝え合って、お互いに傷つかず、お互い許せる範囲を探して、お互いウィンウィンでみんなが幸せな世界を作って行きたいと思います。また同じ間違いを繰り返さないように間違いを学んで繰り返しません。(1077)